

# リスクマネジメント

経営活動におけるリスクを多角的に検証し、  
PDCAサイクルを通じた未然防止策に努めています。

## リスクマネジメントの考え方

カシオでは従来から、各部門において想定されるリスクの未然防止に努める一方で、万一の場合に備えた全社的な危機管理体制を構築してきました。

しかしながら、昨今の国内外における企業不祥事の発生状況や企業経営の公正性や透明性に対するステークホルダーの意識の高まりなどから、今後は、全社的に事業活動におけるリスクを見出し、これらを予知・予防し、対処・復旧していく環境を確実に整備することが企業経営上、不可欠となると判断しています。

こうした認識に立ち、カシオでは、従来の内部統制環境をより精緻なものとするために、JISQ2001（日本工業規格のリスクマネジメントシステム構築のための指針）のほか、米国企業改革法などの国内外の規格や法規制などを参考

にしながら、独自の内部統制システムを構築していく方針です。

## リスクマネジメント体制

カシオは、リスクマネジメントを推進するための具体的な体制として、「CSR委員会」のもと、「リスクマネジメントプロジェクト」を立ち上げています。

同プロジェクトでは、従来は個別の部門で管理していたリスクについて、いわば全社レベルの棚卸しを行い、リスクの分析・評価を行っています。

そして、これらのリスクを未然に防止し、万一リスクが発生した際にも、復旧までを含めて適切に対処できるマネジメントプログラムを、既存の枠組みとの整合性をとりながら構築していきます。

## 危機管理マニュアルの策定

カシオでは、万一リスクが顕在化した場合に、事業活動や社会一般に重大な支障が生じる可能性が高いものについては、危機管理マニュアルを策定しています。

具体的には、想定される事態別に、

- ① 従業員および家族の安全確保
- ② 企業資産の保全
- ③ 事業活動の継続
- ④ ステークホルダーからの信頼確保

などを基本項目として、関係者への情報の提供を行い、地域との連携をとりながら迅速かつ適切な初期対応を行うことに重点を置いたシステムを構築しています。

また、マニュアルの内容については、事業環境の変化に対応して随時改定を行い、その都度周知徹底を図っています。

## リスクマネジメント システムの概念

